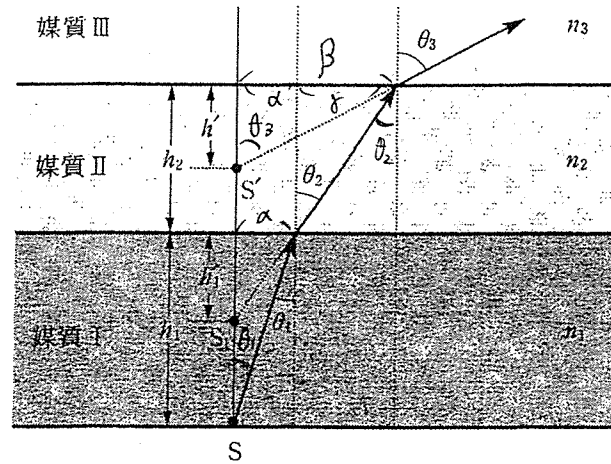


図において、媒質I、媒質II、媒質IIIは屈折率がそれぞれ n_1, n_2, n_3 の媒質である。また、媒質Iと媒質IIの厚さは h_1 と h_2 である。媒質Iの底に点光源Sを置く。Sを出て媒質Iから媒質IIを通り媒質IIIへ進む光線がある。図のように、媒質Iでの入射角を θ_1 、媒質IIでの屈折角を θ_2 、媒質IIIでの屈折角を θ_3 とする。ただし、各媒質の境界面はすべて平行であり、 $n_1 > n_2 > n_3$ とする。



(あ) $\theta_1, \theta_2, n_1, n_2$ の間に成り立つ関係式を示せ。

屈折の法則より

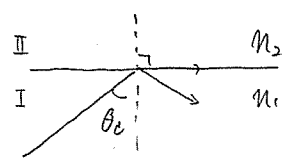
$$\frac{\sin \theta_2}{\sin \theta_1} = \frac{n_1}{n_2} \Leftrightarrow n_1 \sin \theta_1 = n_2 \sin \theta_2 \quad \text{--- ①}$$

(い) この光線の媒質Iでの波長が λ_1 であるとき、媒質IIでの波長 λ_2 を λ_1, n_1, n_2 で表せ。

屈折の法則より

$$\frac{\lambda_2}{\lambda_1} = \frac{n_1}{n_2} \Leftrightarrow \lambda_2 = \frac{n_1}{n_2} \lambda_1$$

(う) 媒質Iと媒質IIの境界面で全反射を起こす θ_1 の最小値 θ_c と n_1, n_2 との関係を求めよ。



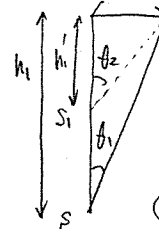
θ_c を入射角とすると、左図のようになる。

$$\frac{\sin 90^\circ}{\sin \theta_c} = \frac{n_1}{n_2} \quad \text{--- ②}$$

$$\sin \theta_c = \frac{n_2}{n_1} \quad \text{--- ③}$$

(え) Sを媒質IIから見たとき、Sは媒質Iと媒質IIの境界面から鉛直方向に距離が h' の位置

S_1 にあるように見えた。このとき、 h' と h_1, θ_1, θ_2 との関係を求めよ。



左図より、 $\tan \theta_1 = \frac{\alpha}{h_1}$

$$\frac{\tan \theta_2}{\tan \theta_1} = \frac{\frac{\alpha}{h_1'}}{\frac{\alpha}{h_1}} = \frac{h_1}{h_1'}$$

$$\tan \theta_2 = \frac{\alpha}{h_1'}$$

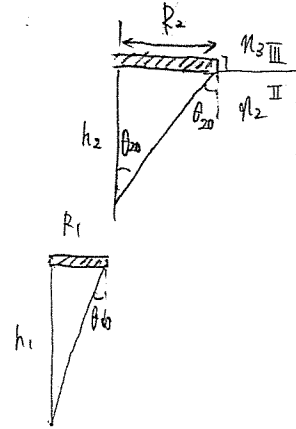
(お) $\theta_1, \theta_2, \theta_3, n_1, n_2, n_3$ の間に成り立つ関係式を示せ。 $\Leftrightarrow h_1' = \frac{\tan \theta_1}{\tan \theta_2} h_1$

①②より、IIとIIIの界面より

$$n_2 \sin \theta_2 = n_3 \sin \theta_3 \quad \text{--- ②}$$

$$\text{①②より、} n_1 \sin \theta_1 = n_2 \sin \theta_2 = n_3 \sin \theta_3$$

(か) 媒質IIと媒質IIIの境界面上に円板を置き、Sが媒質IIIのどこからも見えなくなるようにした。このときの円板の最小半径Rを n_1, n_2, n_3, h_1, h_2 で表せ。



IIとIIIの界面での臨界角 θ_{20} とLZ.

$$\frac{\sin 90^\circ}{\sin \theta_{20}} = \frac{n_2}{n_3} \quad \Rightarrow \quad \frac{R_2}{\sqrt{R^2 + h_2^2}} = \frac{n_3}{n_2}$$

$$\Leftrightarrow \sin \theta_{20} = \frac{n_3}{n_2} \quad \Rightarrow \quad n_2^2 R^2 = n_3^2 (R^2 + h_2^2)$$

$$(n_2^2 - n_3^2) R^2 = n_3^2 h_2^2 \quad \Rightarrow \quad R_2 = \frac{n_3 h_2}{\sqrt{n_2^2 - n_3^2}}$$

$$\text{--- ④}$$

(き) 円板を取りのぞき、Sを媒質IIIから見たとき、Sは媒質IIと媒質IIIの境界面から鉛直方向に距離が h' の位置 S' にあるように見えた。いま、Sを媒質IIIの真上付近から見たとすると、 $\theta_1, \theta_2, \theta_3$ は十分小さく、 $\tan \theta_i = \sin \theta_i (i=1, 2, 3)$ が成り立つと考えてよい。Sを媒質IIIの真上付近から見たとき、 h' を n_1, n_2, n_3, h_1, h_2 で表せ。

(こ) [方針] h' を求め、 $\theta \rightarrow 0$ とLZ.

$\beta = \alpha + \gamma$

$$\text{④より、} h' \tan \theta_3 = \beta \Leftrightarrow h' = \frac{\beta}{\tan \theta_3} = \frac{1}{\tan \theta_3} (h_1 \tan \theta_1 + h_2 \tan \theta_2)$$

$\theta_i \rightarrow 0$ より、 $\tan \theta_i = \sin \theta_i$

$$h' = \frac{1}{\sin \theta_3} (h_1 \sin \theta_1 + h_2 \sin \theta_2)$$

$$= \left(h_1 \frac{\sin \theta_1}{\sin \theta_3} + h_2 \frac{\sin \theta_2}{\sin \theta_3} \right) \stackrel{\text{屈折の法則}}{=} \left(h_1 \frac{n_3}{n_1} + h_2 \frac{n_3}{n_2} \right) \Leftrightarrow \frac{\sin \theta_1}{\sin \theta_3} = \frac{\sin \theta_1}{\sin \theta_2} \frac{n_2}{n_1} = \frac{n_3}{n_1}$$

$$\frac{\sin \theta_2}{\sin \theta_3} = \frac{\sin \theta_2}{\sin \theta_3} \frac{n_3}{n_2} = \frac{n_3}{n_2}$$

答(あ) $n_1 \sin \theta_1 = n_2 \sin \theta_2$ (い) $\frac{n_1}{n_2} \lambda_1$ (う) $\sin \theta_c = \frac{n_2}{n_1}$ (え) $h' = h_1 \frac{\tan \theta_1}{\tan \theta_2}$

(お) $n_1 \sin \theta_1 = n_2 \sin \theta_2 = n_3 \sin \theta_3$ (か) $\frac{n_3}{\sqrt{n_1^2 - n_3^2}} h_1 + \frac{n_3}{\sqrt{n_2^2 - n_3^2}} h_2$ (き) $\frac{n_3}{n_1} h_1 + \frac{n_3}{n_2} h_2$